

令和 8 年の年頭のご挨拶

国立国会図書館長
倉田 敬子



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新年にあたり、皆様のご理解とご支援にあらためて感謝申し上げます。

国立国会図書館は、調査及び立法考査局を中心に、国会議員の皆様へサービスをご提供しております。同局では、国会議員の皆様から国政課題に係る個別のご依頼を受けて調査・回答を行っております。また、国政審議の参考に資するため、国政課題に関する調査研究の成果を刊行物として公表しております。

本誌『レファレンス』は、1951（昭和 26）年 5 月の創刊から 75 年、調査及び立法考査局の基幹誌として、中長期的観点から、多様な国政課題のほか、海外諸国の制度等もとりあげてきました。この間、内外の情勢は大きく変動し、今日なお地球環境の変化や各地の紛争、さらに複雑さを増す国際関係等、先の見通しにくい状況にあります。国政課題の多くは、国際社会の課題と無縁ではありません。激動する情勢の中にあって、新たな課題を把握し、信頼できるものを見極め、国政審議に資する調査研究の成果をお届けできるよう、引き続き努めてまいります。

本誌に加え刊行物としては、1 冊 1 テーマで、国政課題の経緯・問題点等をコンパクトにまとめた『調査と情報—ISSUE BRIEF—』、諸外国の法令の翻訳・解説等を掲載した『外国の立法』（季刊版・月刊版）、特定のテーマについて実施した調査プロジェクトの報告書等があります。紙媒体でご提供しているほか、国会向け情報サイト「調査の窓」で PDF 版を掲載しております。刊行物の一部について、内容を分かりやすくご説明する「政策セミナー」を随時行っており、その音声付きスライドショーや、各種データベースも「調査の窓」からご利用いただけます。

国立国会図書館は、「国立国会図書館ビジョン 2021-2025—国立国会図書館のデジタルシフト—」の後継となるビジョン策定に向けた取組を進めております。デジタルシフトを経る中で、図書館が収集し、提供する資料の概念も変容しつつあります。サービスの基盤となる資料や情報を、いかに収集・組織化し、利便性の向上を図り保存していくか、紙の資料が基本だった時代とは、異なる視点からの検討が必要となっています。そうした基盤を基に、国会活動を確かな根拠で支えるべく、AI 等の新しい技術も活用しつつ、取り組んでまいります。

「真理がわれらを自由にする」という国立国会図書館法前文に掲げられた理念に思いを致すとともに、現代のニーズにかなったサービスを提供できるよう、努めていく所存です。

本年も、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

